



第59回福島県公立学校退職校長会会津大会（6/10 御蔵入交流館）

巻頭言 ごあいさつ



支部長 阿部 充也

会員の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。このたびの支部総会におきまして支部長という重責を担うことになり身の引き締まる思いです。これまですばらしい統率力と豊かな人間性で会の運営に当たられてきた支部長さんに比べ未熟者ですので、要職を汚してしまわないかと心配ではありますが、皆さまの温かいご支援とご協力をいただきながら、微力ではありますが支部の発展のために努力していききたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

過日の総会では、令和7年度の組織体制や活動計画等が全会一致で承認され、無事新たなスタートを切ることができました。ただ、総会参加者の固定化や減少化、さらには会員の減少は、会の活動の停滞やマンネリ化を防止する意味からも、今後も継続して検討して行かなくてはならない課題であると考えています。

各部の事業やクラブ活動におきましては、会員が興味や関心を持って参加していただけるように創意工夫を加えながら進めていきますので、各種案内や広報等をご覧になりお知り合いの方をお誘いの上振るってご参加いただきたいと思います。

今後考えて行かなくてはならない事として、一人暮らしや施設に入居されている会員が増加したことによって、これまで緊急連絡網が途中で途切れてしまう事が多々ありました。さらには、郵便料の高騰によりはがきや手紙での案内の連絡が難しくなっています。ラインによる一斉配信に変更するなど、お知らせする内容が確実に全会員に伝わるような方法を考えていきたいと思っています。

また、会員の減少や高齢化等により、同じ方に何年も理事をお願いしたり、理事会があっても様々なご都合で会に参加できなかったりと、理事会の本来の目的を達成できない状況にあります。理事会の目的や理事の任命等、皆さまのご意見を聞きながら理事会の在り方について検討していきたいと思っていますので、よろしくご協力をお願いいたします。

最後に、今年度も会員の皆さまが健康でご活躍されることを祈念してあいさついたします。

やま

福島県公立学校退職校長会耶麻支部

広 報

発行日 令和7年6月26日

発行者 支部長 阿部 充也

生涯部事業計画

生涯部長 佐藤 めぐみ

1 集いの広場「たまり場」

1回目は7月12日(土) 10:00~12:00
厚生会館にて。ゲストは菅井一良さんです。
涼しい場所で気の向くままに会話を楽しみ
ましょう。お気軽にお越しください。

2 8月21日(木)「現職・退職校長教育懇談会」を実施します。(講話&懇談会)

講師は、『喜多方を漢字のまちにする会』
会長萩原孝様。講話題は、「成り立ちとつな
がりから学ぶ漢字～白川静の文字学に基づ
いて～」です。

後半は、現職・退職者が小グループで懇談
します。短い時間ですが、互いに刺激ある良
い機会になることでしょう。

同日、懇親会も予定しています。多くの会
員のご出席をお願いします。

なお、参加申込みは、FAX・電話・SMS
のいずれかで承ります。別紙案内をご覧ください。

生活部事業計画

生活部長 鈴木 隆

《研修旅行》

本年度も『のんびり温泉旅行』第3弾を
企画いたしました。一次案内を最終ページ
に載せていただきました。詳しくは8月に
詳細案内をお送りいたしますので、ご参加
をお待ちしております。

○日 時 令和7年10月17日(金) 予定

○行き先 鹿瀬温泉赤湯方面(新潟県)

○経 費 別紙(8ページ)

○交通手段 別紙(同上)

《忘年会(1年の健康を祝う会)》

今年度も『1年の健康を祝う会』を開催し
ます。久しぶりに顔を合わせる方や新しく退
職校長会に入会された方とも、楽しく親睦を
深める機会ですので、今年度も多数の皆様の
参加をお待ちしています。

○期 日 令和7年11月下旬予定

○詳しい内容は10月中旬にご案内を差し
上げます。

クラブ活動計画

各クラブの活動予定等をお知らせします。
詳細は、総会資料をご覧ください。(広報部)

囲碁クラブ

会 員 数 8名

活 動 日 毎月第1木曜日

活動場所 喜多方市厚生会館第4研修室

問合せ先 代表 猪俣 薫

グラウンドゴルフクラブ

会 員 数 3名

活 動 日 毎週2回(月曜日・水曜日)

活動場所 旧岩月中 校庭特設コート

冬季は、同講堂特設コート

問合せ先 代表 佐藤 定男

藤 宝 会

会 員 数 2名

活 動 日 毎月第2金曜日

活動場所 第2金曜:佐藤定男氏宅(7回)

他に、岩月公民館「謡曲教室」に参加

問合せ先 代表 菅井 一良

大人の遠足クラブ

会 員 数 11名

活動日・活動場所 年間を通して季節やイベ
ントを考慮して計画・実施

問合せ先 代表 大堀 浄一

おめでとうございます

賀詞受賞者の皆様より

思い出

佐藤 達雄



今年2月、数十年ぶりの豪雪の中、誕生日に合わせて菅井支部長様・阿部副支部長様が訪問され、全国退職校長会会長田中昭光様から米寿の祝として賀詞の賞状と耶麻退職校長会からの記念品の授与、誠に有り難うございました。

昭和36年4月、新任教員として東白川郡矢祭村立下関河内小学校追分分校に着任し、3・4年生19名の複式学級担任でスタートしました。最初に感じたことは、学校が山の中腹に建っていること、農地・住宅地が柵で囲われており小土蔵の窓から煙が出ている風景でした。主任教諭から校舎案内・教育活動計画等の説明を受け教育関係用語の難しさ、特に同教科同教材・同教科異教材隔年方式等、複式学級学習活動の基本について丁寧な説明があり、理解はできましたが実践への見通しは見えず、焦るばかりでした。19名の生徒を思うと実践する以外に方法はなく、特に音楽学習指導は苦労の連続でした。並行して同教科異教材の4教科8教材学習指導では、時間の配分・黒板資料等の活用が生徒にとって最良の方法で学べることはどうすれば良いか試行錯誤すれど先は見えず、納得できないまま年度末の人事異動で郡内中学校に転出。

私にとって、追分分校での1年間は苦労の連続でしたが、教員としての原点となりました。

喜寿会員の皆様より

思い出の学校

矢部 宥一

先日は、喜寿のお祝いをしていただきまして本当にありがとうございました。退職してから17年、今まで元気に過ごせたことを心から感謝しています。

現在は西会津町の奥川に一か月の半分以上通う生活に追われています。国道459号を山都から奥川へ向かいます。宮古を過ぎて幕ノ内の峠を越え、狭い曲がりくねった下り坂を降りると小綱木集落です。この集落にあった「奥川小学校大綱木分校」が私の長い教員生活の第一歩でした。

その後、新郷小、尾野本小、高郷二小、熱塩小、姥堂小、新郷小、入田付小などに勤務しましたが、何れも耶麻地区の学校でした。

教頭、校長になってからも耶麻地区の小学校のみでした。自分が希望したわけでもないのでどういう理由かわかりませんが。

いずれにしても、定年まで無事勤めることができました。家族を始め、自分を支えて下さった先生方や地域の方々に感謝しています。現在は、勤務したほとんどの学校が休校や廃校になり、寂しく思いますが、その地に何かの用事があり足を運んだときなど、様々の思い出がよみがえり、若いときの自分が取り戻せる貴重な時になっています。

日々是好日

長期入院を経験して

津川 紀雄

今から3年前の令和4年4月に内科を受診した際、不整脈があるとのことで救急車で運ばれて、検査の結果入院することになった。ペースメーカーを植込む必要があるとのことであった。毎日心臓に機器を付けて検査を行

ない、日夜点滴も行なった。

入院して間もなくリハビリが始まり、廊下を歩く、階段の上り降りや自転車こぎなどの運動であった。

病室からは磐梯山を見ることができ、頂上付近に残雪があり、天気の良い日は眺めることが日課になった。

入院してから1か月が過ぎ、ペースメーカーを植込む手術を行ない、その後順調に回復して5月下旬に退院となり、43日間の長期入院であった。磐梯山の残雪も入院当初より少なくなっていた。

その後県から身体障害者の認定を受けた。

現在は年に4回定期検診として、X線、心電図、ペースメーカーの検査を受けている。

日常の生活は、朝にラジオ体操、1週間に2日のグラウンドゴルフを楽しんでいる。時々15分程度のウォーキングをして、健康のありがたさを感じている。

月刊『文藝春秋』との付き合い

新井田 大



月刊「文藝春秋」は誰もが知っている雑誌だと思います。大正12年1月に菊池寛が自宅に設立した会社で創刊したのが始まりです。今年で創業103年になるそうです。私がこの雑誌

を知ったのは学生の頃でした。渋谷の書店に勤め始めた妹が持ってきてくれたのがきっかけです。当時は学生運動が盛んで、通常通り講義が行われていた大学は少なく、暇に任せて手に取り読み始めると、ごった煮の鍋をつついていようなぞくぞく感がありました。今でもこれは変わっていないように思います。

この雑誌が多くの人に注目を浴びるようになったのは、立花隆氏が書いた、「田中角栄研

究」の掲載だと思います。1974年（昭和49年）の11月号に掲載されました。日本を揺るがす大事件で失脚の端緒となり、一つの時代の終わりを告げるものとなりました。

20年ほど前に北京外国語大学を視察で訪れる機会がありました。図書館に月刊文藝春秋が揃っていました。大平正芳氏が日本を理解する良い資料になると、贈呈したものと中国の担当者は話していました。内容が多岐に富み、まさにその通りだと思います。

購読を始めてから約半世紀になりますが、今でも毎月千数百円で楽しんでいます。

「持続可能な学校づくり」考

山本 靖

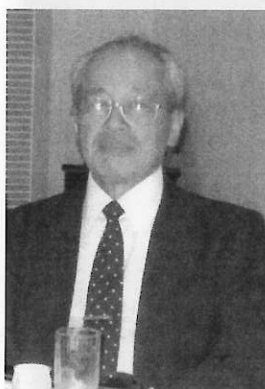
5月24日は熊倉小学校の運動会でした。ズームアップしたビデオカメラの液晶画面には、緊張した面持ちでスタートラインに立つ孫の姿が写っています。その時、ふと60年前同じ場所に立っている自分を思い出しました。真新しい白足袋を履いた小1の私です。若い父と母の声援も耳の奥に聞こえました。次の瞬間出発の合図が鳴り、子ども達は一斉に走り出します。私は見失わないように必死で孫にレンズを向け続けましたが、一瞬人影がカメラの視界を遮りました。それは、準備係として次の種目の道具を運ぶPTA役員の息子でした。30年前、小学生だった息子がこの校庭を走っている姿が重なります。孫がゴールインしてカメラから目を外すと、そこには、たくさんの時代や世代の連続性を育む運動会がありました。換言すれば、子として、親として、祖父母として人生をおくるアイデンティティ（自己同一性）を支える機能です。少子化の中で毎年たくさんの学校が統廃合されています。それは、「自分らしさ」の「持続可能性」を維持する場が失われるということでもあります。現職の時、勤務する学校の運動会と重なったので父にビデオカメラを託した

ことがありました。帰宅して再生するとテレビには空と地面ばかりが映っていました。一抹の不安を抱えながらビデオカメラを息子に渡し、昔と同じあぜ道を歩いて帰りました。



昭和46年
熊倉小学校
運動会鼓笛
パレード
(右大太鼓
が筆者)

会北中創立50周年記念行事後日談



笠間 三男也

当日の校歌斉唱は、元
気乏しく不評でした。し
かし、その後の始業式や
卒業式では、声高らかに、
素晴らしい合唱で好評そ
のものでした。

これは、学校自身の指
導と努力によるものでは
る。学校では、何人かの生徒との校歌問答の
中で、「みんなが本気で歌う気があれば自分も
本気で歌います。」という傾向の多いことを捉
えていたはずだ。生徒自身は、校長との会
話も少し慣れてきている感じです。

話題は少し変わりますが、私は校長職に着
いて以来、卒業しようとする生徒の希望を含
めた個別の対話は有意義であると思っています。
今後の学習や進路等についての話し合い
は、将来を見つめた父兄側は賛成であり、学
校側に期待する方が増えているようです。話
し合いは本当に大切です。

令和7年度耶麻支部役員

令和7年4月12日(土)の支部総会にて
選出された役員の方々、支部長の委嘱が承認
された役員の方々をお知らせいたします。よ
ろしくお願いします。(敬称略 広報部)

顧問	笠間 三男也
	高畑 睦雄
	鈴木 充正
	津川 紀雄
	五十嵐 昭義
	大堀 淨一
	齋藤 文泰
	菅井 一良
支部長	阿部 充也
支部副長	猪俣 薫哉
監事	大場 健崇
	加藤 敬憲
	須田 政憲
県評議員	伊藤 政充
	阿部 健哉
理事	大場 博之
	渡部 雄彦
	佐久間 太右衛門
	五十嵐 俊哉
	澤崎 靖靖
	山本 幸男
	瓜生 幸虎
	高澤 義秀
	田代 淨一
	大堀 壽彦
	赤城 敬修
	田崎 涉
	廣瀬 忠
庶務部長	馬場 俊裕
庶務副部長	小林 一樹
会計部長	小荒 茂樹
会計副部長	伊藤 博子

広報部長	吉田佳正
同 副部長	高橋吉博
生涯部長	佐藤めぐみ
同 副部長	大西敬
生活部長	鈴木隆
同 副部長	長谷川良三

教育の現場から

熱塩加納小学校スタート！

喜多方市立熱塩加納小学校長 黒子 学
令和7年4月に熱塩小学校と加納小学校が統合し、熱塩加納小学校が誕生しました。当初の予定では、令和9年度に統合する予定でしたが、2年繰り上げての統合となりました。統合の動きが加速したのは、令和5年の秋ごろでした。加納小学校に着任した当初、統合については令和9年度の話であり、まだまだ先のことと悠長に構えていました。ところがその年の秋も深まった10月下旬に統合へ向けての話が具体的なものとなり、令和6年1月に統合準備委員会が立ち上がり、令和7年度の統合に向けてスタートしました。統合まであと1年と2カ月しかない中、本当に統合できるのか正直とても不安でしたが「やるしかない！」と熱塩小学校の下重校長先生と覚悟を決めました。統合の準備を進めていくと…校歌や校章、運動着、スクールバス等決定しなければならないことがたくさんありました。父母と教師の会の組織や規約作りのために両校の役員の皆様に集まってもらったり、新設校の教育課程を新たに編成するために両校の先生方で合同会議を何回も行ったりしました。また、備品や集金関係、予算面など事務の先生方にもお世話になりました。

今、思い返してみるとよく令和7年度に間に合ったなと思います。これもひとえに菅井一良委員長をはじめとする統合準備委員会、教育委員会、保護者、地域、耶麻地区の教職

員、そして退職校長会耶麻支部の先輩方のおかげです。人と人との繋がりや絆の大切さに改めて気付かされた1年と半年でした。本当にお世話になりました。

熱塩加納小学校の歴史は、始まったばかりです。退職校長会の皆様には、何かとお世話になることが多々あるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



校旗披露

開校式後の
記念写真撮影



統合後の諸活動
(輪を作ろう)

統合後の諸活動
(輪になって昼食)



事務局だより

庶務部長 馬場 俊忠

- 4月12日(土)の14時から新丁子屋において、耶麻支部総会が26名の参加で行われ、事業や予算などが原案通りに可決されました。役員改選の年にあたり、阿部充也新支部長をはじめ、承認いただきました新体制で新年度のスタートを切りました。
- 今年度の退職校長会県大会は6月10日(火)に南会津地区が事務局を担当して、

南会津町の御蔵入交流館で開催されます。本地区からは16名が参加します。今回の新たな取り組みとして、大会全体を通し「共生と持続可能な社会の実現に向けて貢献するために」の大会テーマのもとで講演等が実施されます。

- 会計関係では郵券代等を含む物価高騰もあり、節約できるところに取り組んでまいります。行事のお知らせ等が郵送ではなく、かなり早い時期から理事による配付となってしまうことがあるかもしれません。ご理解とご協力をお願いいたします。

会 計 部 よ り

会計部長 荒明 茂樹

コロナ禍で、十分な活動ができない等から、令和5・6年度の2年間は会費を引き下げました。

令和7年度は、各種の状況を考慮し、会費を規約に示されている6千円に戻しました（会費免除会員を除く）。

今年度は、会計部として、以下の点に留意して、取り組んでまいります。

- (1) 退職校長会会津大会が、南会津地区で開催されること等を含め、会員の皆様の各種活動がより充実したものになるよう、会計面から支援していきます。

- (2) 昨今の各種の値上げが続いていることから、節約に努めていきます。

特に、昨年10月以降の郵便料金の改定により、会員の皆様に、ご不便をかけないようにしてまいります。

以上の点から、今年度も一般会計、特別慶弔会計の適正な会計処理につとめていきたいと思っております。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

広報部事業計画と編集後記

広報部長 吉田 佳正

広報「やま」につきましては、6月と2月に年2回発行しております。そのため、年間を通して見ると、毎年約30名の方に原稿の執筆をいただいております。さらに、立場上毎回のようには執筆いただく結果になっている方もいらっしゃると思いますが、本当に申し訳なく思っております。また、原稿の依頼に当たっては、6ページ建で割り振りを考えご依頼申し上げているところですが、字数オーバーになってしまわれる方が多く、このところは毎回8ページ建での発行が続いております。原稿と共に、「字数オーバーしておりますので、適当に削除下さい」というメモが同封されている場合も、「削除」にはなかなか勇気があるので、原文のまま掲載しているのが現状です。幸い写真が同封されている場合などは、その大きさを調整することでオーバー分を解消することができるものもありますが、それでも数行程度です。予算のこともあるため、8ページ以上建にすることは難しいので、今後は文字の大きさ（ポイント）での調整も必要かと考えております。突然文字の大きさに変化が生じるような場合がありますら、ご了承ください。

愚痴のような前段の文章になってしまい申し訳ありませんが、ここに6月発行予定分をお届けできることを大変うれしく思っております。原稿の執筆をいただいた皆様には、貴重な体験談等、今後の生活にも生かせる内容に溢れたもので深く感謝申し上げます。

誌面作りにおいては、より多くの会員の皆様に執筆いただけるよう、更に工夫・改善を進めていきたいと考えておりますので、今後とも原稿依頼の連絡等ありましたら、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

研修旅行 1次案内

研修旅行

温泉へ行こう!

昨年に続き本年度ものんびり温泉につかり、美味しい食事を楽しむ、日帰り旅行を予定しています。たくさんの方々が参加しやすいように以下の方針で計画いたしますので、たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

- 日帰り温泉旅行第3弾とする。
- 費用は、一人あたり7,000円以内とする。
- 費用を抑えるため、また、参加者の送迎が可能な利点のため、相乗りによる自家用車利用とする。

1. 期 日 令和7年10月17日(金) 予定

2. 場 所 ①阿賀の里で船下り②狐の嫁入り屋敷見学③鹿瀬温泉赤湯で入浴と食事

3. 日程(予定)

8:30 〈各自迎え〉 いくつかのグループに分かれ、お迎え。

9:00 〈集 合〉 会津坂下町坂本セブンイレブン

10:00 〈船下り〉 阿賀の里

11:00 〈見 学〉 狐の嫁入り屋敷

12:00 〈お風呂&食事〉 鹿瀬温泉赤湯 着

14:00 〈出 発〉 鹿瀬温泉赤湯 発

15:00 〈解 散〉 会津坂下町坂本セブンイレブン

15:30 〈各自迎え〉 グループ毎

4. 費 用 一人あたり7,000円程度

詳しくは8月末頃、案内を差し上げます。